

「適性下顎位の咬合器への置換と補綴装置の製作」

徳島大学病院医療技術部歯科医療技術部門技工室

鴨居浩平

補綴装置を製作する上で、歯科技工士はその審美的要素や機能性要素を考慮して製作しているが、歯科医師により採得された適正下顎位の咬合器への置換は、患者満足度の高い補綴装置を製作するための大きな要素と言える。すなわち、歯科技工士も最適な咬合高径と適切な水平的下顎位の重要性を理解し、技工作業の一部としてその情報を逃すことなく補綴装置に反映させなければならない。広く用いられている方法として、頭蓋骨と上顎歯列の三次元的位置関係を咬合器に再現するためのフェイスボウ・トランスファーが挙げられる。これにより生体の下顎頭と咬合器の開閉軸を一致させ、患者固有の下顎運動を再現することができる。また水平的顎位の決定法として、タッピングや筋触診法、舌挙上法などが挙げられるが、Gysiにより提唱されたゴシックアーチ描記法は客観的に下顎限界運動が確認でき、難症例にも有用とされ広く臨床応用されている。

本講演では、診療室にて採得された適性下顎位を狂わせることなく咬合器に置換し、チェックバイトを元に咬合器を調整することで誤差の少ない顎口腔系に調和した補綴装置の製作に寄与する一連の流れを紹介し、各工程の勘所を共有できればと思う。

略歴

名前：鴨居浩平

- 2010年3月 広島大学歯学部口腔保健学科口腔保健工学専攻 卒業
- 2010年4月 徳島大学病院診療支援部歯科医療技術部門技工室 入職
- 2013年4月 一般社団法人徳島県歯科技工士会 理事 就任
- 2016年6月 公益社団法人日本歯科技工士会 歯科技工士労務対策委員会委員 就任
- 2016年9月 一般社団法人日本歯科技工学会 専門歯科技工士 認定
- 2016年11月 日本災害派遣医療チーム業務調整員 認定
- 2017年9月 日本口腔顎顔面技工学会理事 就任
- 2022年6月 一般社団法人日本歯科技工学会 代議員 就任
- 2022年9月 一般社団法人日本歯科技工学会 専門歯科技工士制度運営委員会委員 就任
- 2023年6月 一般社団法人徳島県歯科技工士会 常務理事 就任